

資料 学校感染症と出席停止の基準

| 分類 | 病名 | 出席停止の基準 |
|------------|-----------------|--|
| 第1種 | ※1 | 治癒するまで |
| 第2種 | 麻しん(はしか) | 解熱後3日を経過するまで |
| | インフルエンザ | 発症した後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで |
| | 百日咳 | 特有な咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで |
| | 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで |
| | 風しん | 発疹が消失するまで。 |
| | 水痘(水ぼうそう) | すべての発疹が痂皮化するまで |
| | 結核 | 医師により感染のおそれがないと認められるまで |
| | 咽頭結膜熱(プール熱) | 主要症状が消退した後2日を経過するまで |
| | 髄膜炎菌性髄膜炎 | 医師により感染のおそれがないと認められるまで |
| 第3種(抜粋) ※2 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 医師により感染のおそれがないと認められるまで |
| | 流行性角結膜炎 | 医師により感染のおそれがないと認められるまで |
| | 急性出血性結膜炎 | 医師により感染のおそれがないと認められるまで |
| その他の感染症 | 溶連菌感染症 | 抗生剤内服開始後24時間以上経過し、発熱、発疹等の諸症状が回復するまで |
| | ウイルス性肝炎 | A型・E型;肝機能が正常になるまで B型・C型;出席停止不要 |
| | 感染性胃腸炎 | 嘔吐・下痢症状が軽快し、全身状態が回復するまで |
| | マイコプラズマ感染症 | 解熱し、咳が軽快するまで |
| | 伝染性紅斑(りんご病) | 発疹期には感染力がないため、全身状態のよい者は登校可能 |
| | ヘルパンギーナ | 全身状態の安定した者は登校可能 |
| | 手足口病 | 全身状態の安定した者は登校可能 |
| | 伝染性膿痂疹(とびひ) | 患部を覆えれば登校可能。覆えない場合は痂皮が脱落するまで |
| | その他の感染症 | 症状により医師が感染の恐れがないと認めるまで |

※1 第1種;エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、急性灰白髄炎(ポリオ)、鳥インフルエンザ(H5N1)など

※2 第3種;コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス

インフルエンザの場合 出席停止期間の目安表

*原則として発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで

| 発症 0日目 | 発症後 1日目 | 発症後 2日目 | 発症後 3日目 | 発症後 4日目 | 発症後 5日目 | 発症後 6日目 | 発症後 7日目 | 発症後 8日目 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 発熱 | 解熱 出席停止 | 平熱 | 平熱 | 平熱 | 平熱 | 登校可能 | | |
| 発熱 | 発熱 出席停止 | 発熱 | 解熱 | 平熱 | 平熱 | 登校可能 | | |
| 発熱 | 発熱 出席停止 | 解熱 | 平熱 | 発熱 | 解熱 | 平熱 | 平熱 | 登校可能 |
| 発熱 | 発熱 出席停止 | 発熱 | 発熱 | 発熱 | 解熱 | 平熱 | 平熱 | 登校可能 |